

建築設備学第二部
Building Equipment

教員名	平岡秀明（ひらおか ひであき）[非常勤]							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	三機工業（株）関西支店 (連絡先：桃井助教、吹田キャンパス S1 棟 828 室、06-6879-7645)							
E-MAIL アドレス	momoi@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	建築工学コース（3年次）							
単位	2	セメスター				5		
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	近年、建築のなかで占める割合が増している建築設備の基礎知識の取得を目指す。概要、設計法、関連法令、施工技術を、建築計画・工事と関連させて説明する。併せて建築設備をとりまく省エネルギー、環境問題、情報化等の課題と新技術の流れを紹介する。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
授業計画・概要	テーマ		概要				学習・教育目標	
	建築設備概要（5回）		建築設備の構成、種類、機能内容および特徴を概説する。また、建築設備と建築との接点や、建物機能を含めた総合的プランニング、建築設備の運用を含めた省エネルギー・省資源手法を解説する。また計画・設計・施工・運用の各段階での建築設備の実例などを紹介する。（高度5回）				F	
	給排水・衛生設備（5回）		給水、給湯、排水・通気、ガス、消火設備について、目的、機能および設計手法などの実務に即した専門的な知識を身に付ける。また、建築設備に関係する法規制、自然エネルギー活用を目的とした雨水利用や中水利用、井水利用などの最新技術を理解する。（高度5回）				F	
	電気設備（4回）		電力供給関連の受変電設備、動力設備や、照明・コンセント設備、放送設備などの弱電設備、さらに火災報知設備、避難誘導設備などの防災設備の設計手法など、実務に即した専門的な知識を身に付ける。また、建築のインテリジェント化に対する情報設備についての最新技術動向を理解する。（高度4回）				F	
	学期末試験（1回）							
教科書	特に指定しない。（授業中に資料を配布する）							
参考図書・文献等	空気調和・衛生工学会編「空気調和設備の実務の知識」オーム社							
成績評価方法・評価基準	Fについて学期末試験(80%)、小レポート(20%)で評価する。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて桃井助教 (momoi@arch.eng.osaka-u.ac.jp) が対応する。							
コメント								